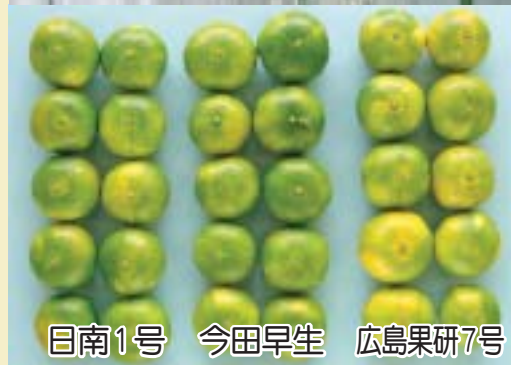


# 9月に収穫できる 極早生温州ミカン「広島果研7号」を育成

九州産に対抗できる良食味の極早生温州ミカンです。

- 広島県豊田郡豊町原産の極早生温州ミカン「今田早生」の珠心胚実生を育成し、選抜しました。
- 「今田早生」や「日南1号」よりも着色および減酸が早く、9月下旬から収穫することができます。
- 9月下旬の果実糖度は、10%前後で「今田早生」や「日南1号」よりも0.3～1.5%高く甘いミカンです。
- 果実は、「今田早生」や「日南1号」に比べてやや小さく、小玉になりやすい傾向があります。
- 現在、品種登録申請中です。

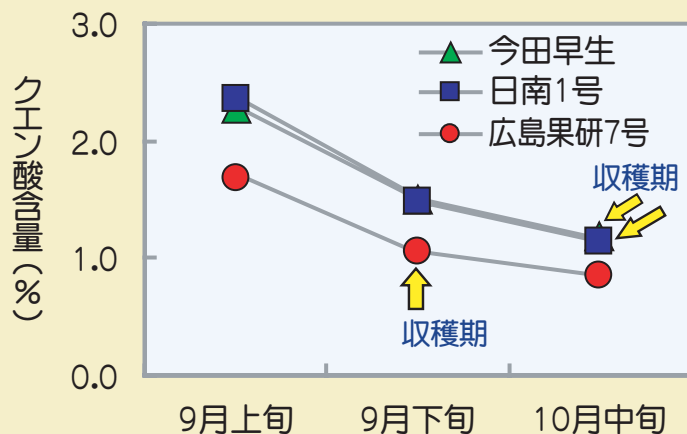


広島果研7号の果実特性(1999～2003年)

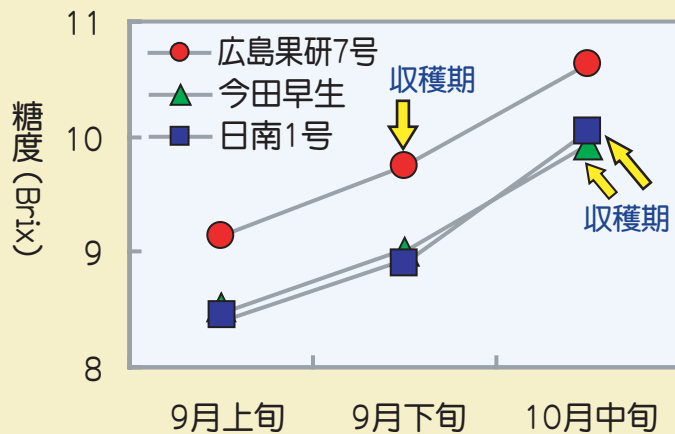
	分析年月日 (月.日)	果実重 (g)	着色歩合 (分) <sup>a</sup>	糖度 (Brix)	クエン酸 含量(%)	浮皮程度 <sup>b</sup>
広島果研7号	9月下旬	86.9	1.2	9.7	1.11	0
今田早生	10月中旬	108.9	6.0	9.9	1.21	0.3
日南1号	10月中旬	105.1	7.2	10.2	1.20	0.2

a:果皮の着色歩合は達観により着色無(0)～完全(10)の11段階に区分した

b:浮皮程度は達観により、無(0)～甚(3)の4段階に区分した



「広島果研7号」のクエン酸含量の推移  
(1999～2003年)



「広島果研7号」の果実糖度の推移  
(1999～2003年)